

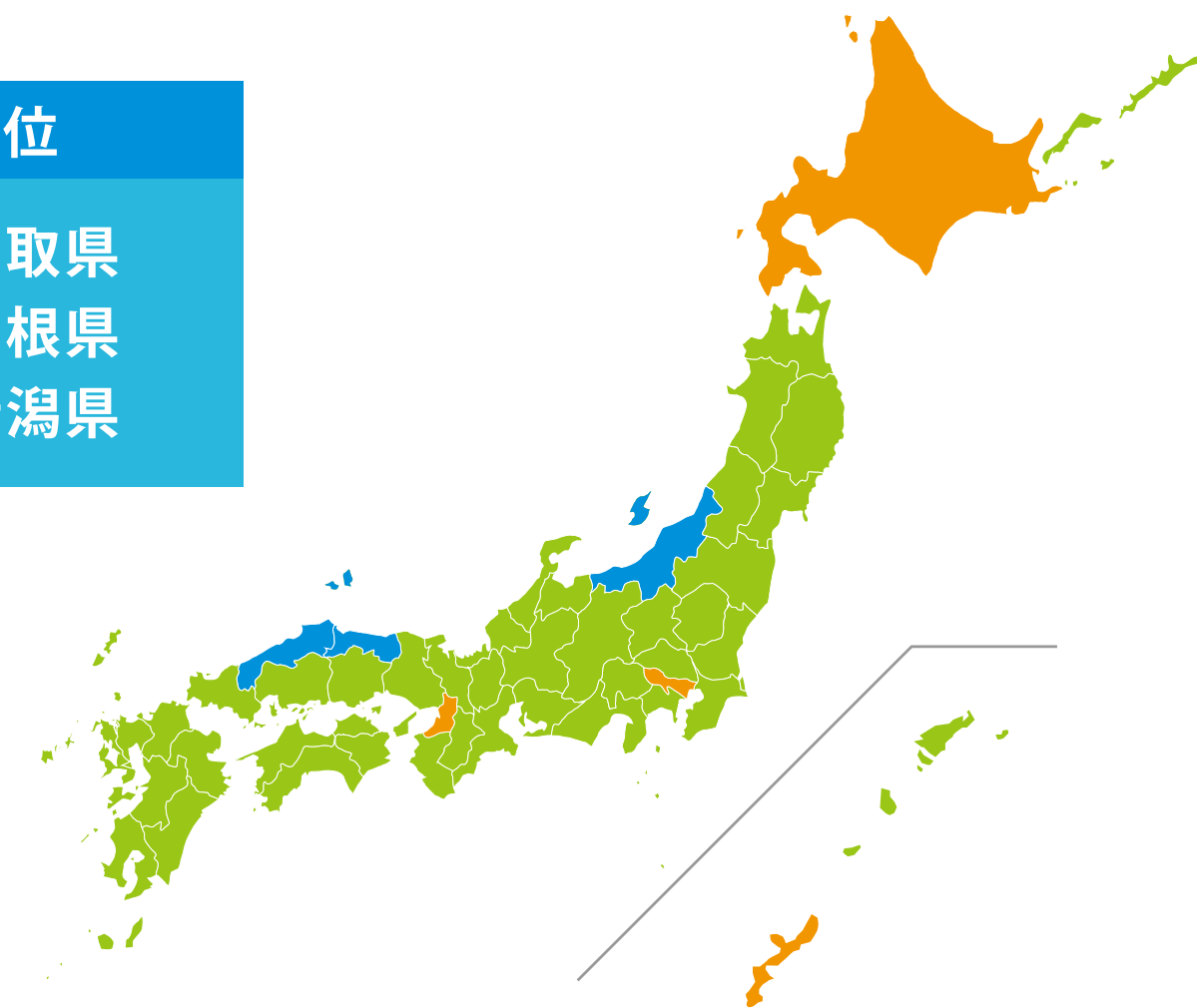
都道府県別 COVID-19 死亡リスク

下位

鳥取県
島根県
新潟県

上位

大阪府・兵庫県(+近畿圏)
東京都(+首都圏)
沖縄県
北海道



大阪府のCOVID-19死亡リスクは鳥取県の約5倍
全国でみると、地域の社会経済指標とCOVID-19死亡リスクの関連はない
東京・大阪大都市圏では、困窮度が最も高いと推定される地域で死亡リスクがわずかに高い

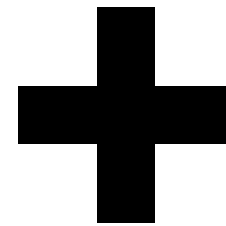
2020年国勢調査

2020年10月時点

日本人 (施設入所者を除く30-89歳)

男性：38,544,154人
女性：41,591,534人

データ
リンケージ



人口動態調査 (死亡票)

2020年10月～2022年12月

人口属性・死因

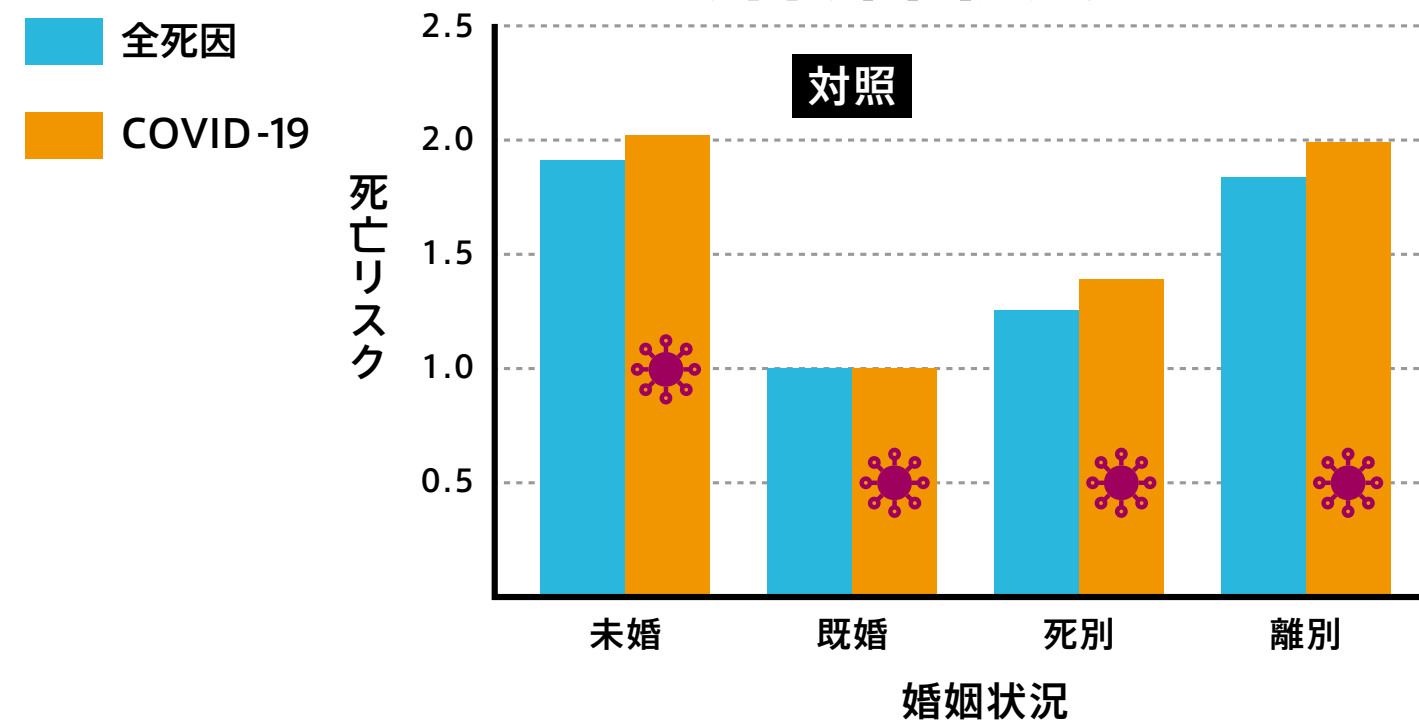
男性：1,162,913人
女性：732,167人

リンケージキー：

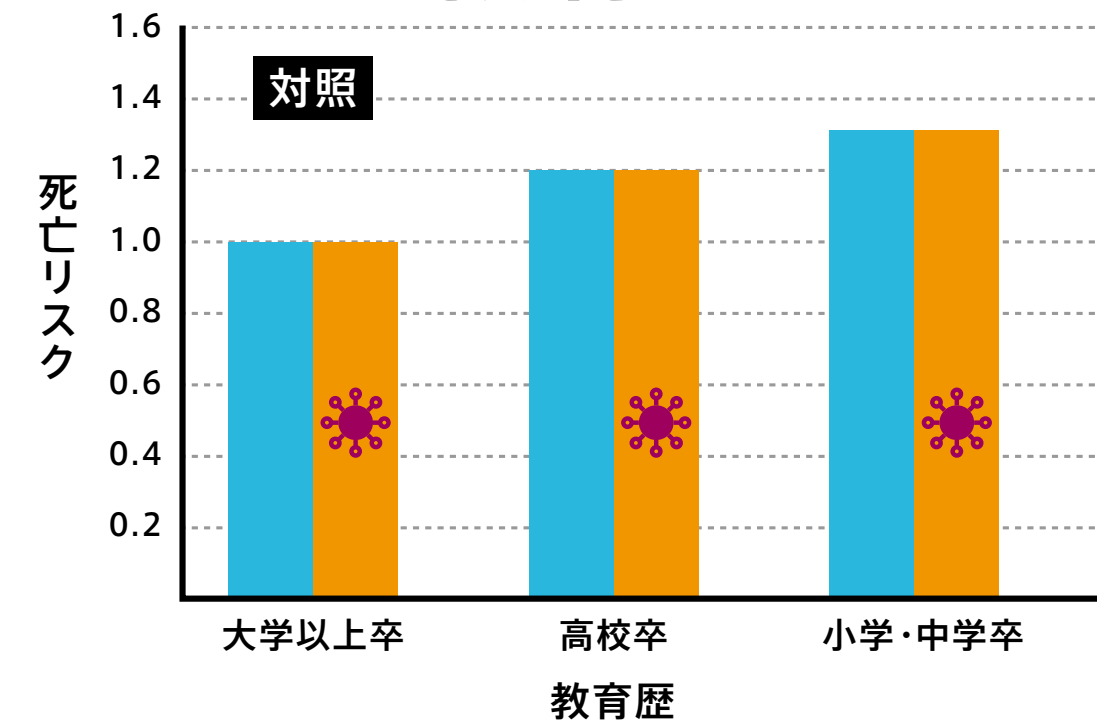
性・生年月・婚姻状況・配偶者の年齢・住所(国勢調査基本単位区)



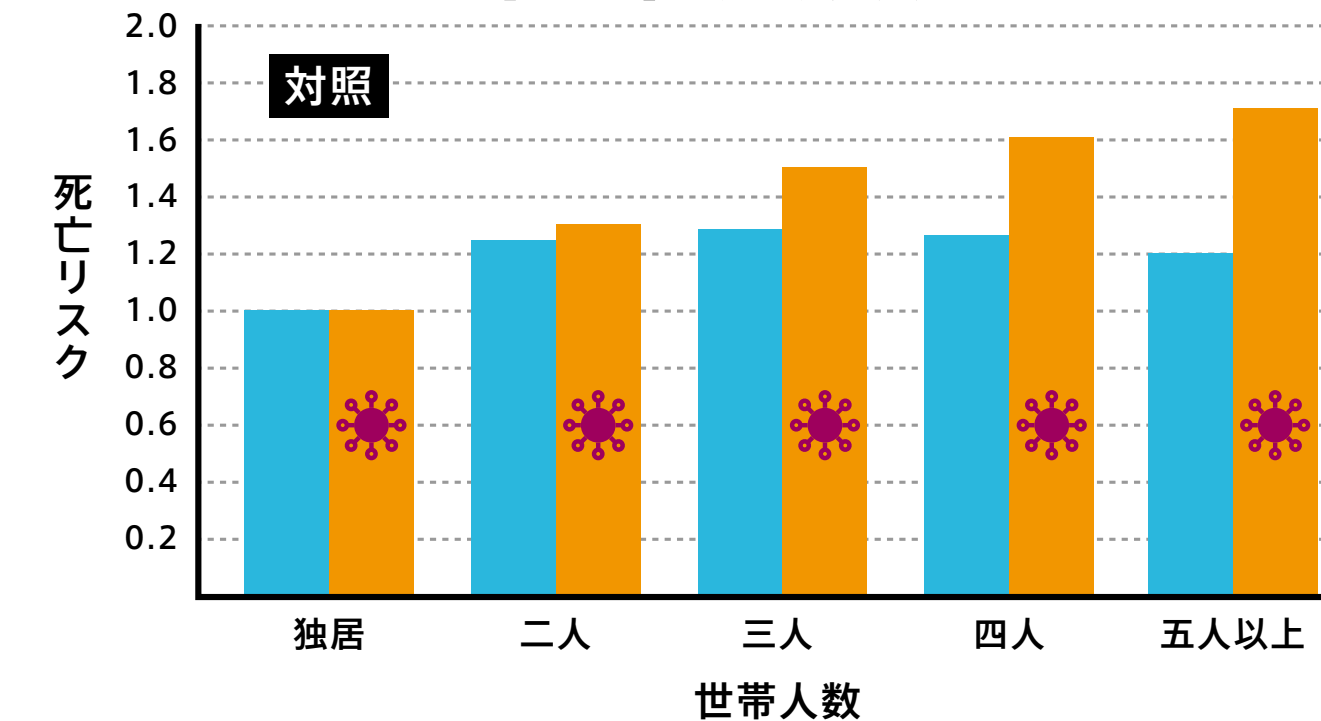
婚姻状況 (男性)



教育歴 (男性)



世帯人数 (女性)



・婚姻状況・教育歴では全死因とCOVID-19死亡リスクの傾向は全く同じ
(COVID-19死亡リスクの社会格差は日本の健康格差を反映している)

・世帯人数が多いほどCOVID-19死亡リスクは増加する(婚姻状況・教育歴など調整済み)